

## ○電子地域通貨「Be コイン」による地域経済の活性化 取組事例 (商店街における買い物支援及び流通対策)〈美瑛町〉

### ■Be コインの概要

美瑛町では、平成 20 年からプレミアム付商品券事業を実施しており、事業者からは大変好評をいただいている。

しかし、紙商品券の問題点として、印刷・換金等のコストが高く、換金・集計等に膨大な時間を要するため、5年ほど前から業務の効率化に向け、役場内で検討を行ってきた。

近隣の町で実施している電子マネーカード事業について、何度も現地視察を行い、「電子地域通貨」の導入を決定する。

利用できる店舗は、もともと商品券事業を実施していた全店舗が対象。決済カードは、ICカードに比べ導入コストが抑えられる QR コード方式を採用し、決済用のスマートフォンを希望する全店舗に無料配布している。システム導入時に、全店舗に対し「事業者説明会」、「端末利用講習会」等を何度も実施し、高齢の事業者でも利用できるよう個別訪問も実施し、登録店舗数は当初 170 店舗から現在は 213 店舗まで増えてきている。

### ■導入効果について

大規模小売店舗の立地による商圈構造の変化により、近隣市に購買力が流失してしまっていたが、電子通貨導入により、町内での消費を増やすことができた。

従来は、実施する事業ごとに商品券を発行していたため、利用するには数種類の券を使い分しなければならなかったが、現在は、プレミアム付商品券事業の他、福祉灯油事業

等、移住者向けの家賃助成事業等、町内で実施している他のポイントサービス事業も含め、1枚のカードで管理することが可能となり、事業者及び利用者ともに利用しやすくなった。

紙からデジタル化になり、精算や管理運営コストや負担が大幅に軽減されたことにより、より多く町民に還元することができるようになった。

### ■今後の課題について

現在、カードのチャージが出来る場所は、役場、道の駅、町民センターの3箇所しかないため、今後は町内に4箇所あるコンビニエンスストアやクレジットカード決済による自動チャージが出来るよう検討を進めていく。

商品券の利用だけではなく、通常のチャージ利用を増やしていくため、ポイントアップキャンペーンを引き続き実施していく必要がある。

商品券事業だけではなく、「Be」コインを通じて、地域の発展、地域のコミュニティづくりを進め、町民の生活の一部として受け入れられる地域通貨を目指していく。



〔美瑛町 Be コイン〕

取材先 ■美瑛町 商工観光交流課  
上川郡美瑛町本町4丁目6-1  
TEL：0166-92-4321（商工観光交流課）